

- 3) 岩崎正則:フッ化物洗口の有効性と安全性について, わかりやすいフッ化物応用講座~フッ化物洗口の実際~, 新潟市, 2013年5月10日.
- 4) 皆川久美子:フッ素洗口説明会, 小学校でのフッ素洗口について, 新潟市小学校フッ化物洗口事業, 巻北小学校(新潟市), 2013年6月7日.
- 5) 皆川久美子:フッ素洗口説明会, 小学校でのフッ素洗口について, 新潟市小学校フッ化物洗口事業, 竹尾小学校(新潟市), 2013年6月28日.
- 6) 笹嶋真嵩:フッ素洗口実施に向けた保護者説明会, 三条市立一ノ木戸小学校(三条市), 2013年7月4日.
- 7) 皆川久美子:フッ素洗口説明会, 小学校でのフッ素洗口について, 三条市小学校フッ化物洗口事業, 長沢小学校(三条市), 2013年7月8日.
- 8) 笹嶋真嵩:フッ素洗口実施に向けた保護者説明会, 三条市立森町小学校(三条市), 2013年7月9日.
- 9) 皆川久美子:フッ素洗口説明会, 小学校でのフッ素洗口について, 新潟市小学校フッ化物洗口事業, 竹尾小学校(新潟市), 2013年7月19日.
- 10) 笹嶋真嵩:フッ素洗口実施に向けた教職員説明会, 新潟市立丸山小学校(新潟市), 2013年8月22日.
- 11) 皆川久美子:フッ素洗口説明会, 小学校でのフッ素洗口について, 新潟市小学校フッ化物洗口事業, 豊照小学校(新潟市), 2013年8月23日.
- 12) 皆川久美子:フッ素洗口説明会, 小学校でのフッ素洗口について, 新潟市小学校フッ化物洗口事業, 岡方第二小学校(新潟市), 2013年8月26日.
- 13) 皆川久美子:フッ素洗口実施に向けた保護者説明会, 新潟市保育園フッ化物洗口事業, こぼと保育園(新潟市), 2013年9月9日.
- 14) 皆川久美子:フッ素洗口説明会, 小学校でのフッ素洗口について, 新潟市小学校フッ化物洗口事業, 巻南小学校(新潟市), 2013年10月21日.
- 15) 小川祐司, 堀 沙耶香, 皆川久美子, 瀧口知彌, 佐藤美寿々, 笹嶋真嵩:歯周病と糖尿病, 新潟大学医歯学総合病院糖尿病生活習慣病教室, 新潟市, 2013年11月7日.
- 16) 小川祐司, 堀 沙耶香, 皆川久美子, 瀧口知彌, 佐藤美寿々, 笹嶋真嵩:歯周病と糖尿病, 新潟大学医歯学総合病院糖尿病生活習慣病教室, 新潟市, 2013年12月5日.
- 17) 佐藤美寿々:保健関係者研修会, 富山県歯科医師会館(富山市), 2013年12月12日.
- 18) 小川祐司, 堀 沙耶香, 皆川久美子, 瀧口知彌, 佐藤美寿々, 笹嶋真嵩:歯周病と糖尿病, 新潟大学医歯学総合病院糖尿病生活習慣病教室, 新潟市, 2014年1月9日.
- 19) 小川祐司, 堀 沙耶香, 皆川久美子, 瀧口知彌, 佐藤美寿々, 笹嶋真嵩:歯周病と糖尿病, 新潟大学医歯学総合病院糖尿病生活習慣病教室, 新潟市, 2014年2月6日.
- 20) 皆川久美子:平成25年度保育園・幼稚園フッ素洗口検討会, 新潟市役所, 2014年2月13日.
- 21) 小川祐司, 濃野 要, 堀 沙耶香, 皆川久美子, 瀧口知彌, 佐藤美寿々, 笹嶋真嵩:歯周病と糖尿病, 新潟大学医歯学総合病院糖尿病生活習慣病教室, 新潟市, 2014年3月6日.

## う蝕学分野

### 【著書】

- 1) Han L, Fukushima M: Auswirkungen von Bleaching auf die Zahnoberfläche. Kommunikation der Zellen, 65, Quintessenz Verlag, Berlin, 2013.
- 2) Kaneko T, Okiji T, Nör JE: Laser capture microdissection in oral cancer research: a review. The Research and Biology of Cancer II, iConcept Press, ISBN: 978-1-922227-423, 2013.
- 3) 興地隆史: 歯内療法のケースアセスメントと臨床, 医歯薬出版, 東京, 2013.
- 4) 興地隆史: ライフステージと歯内療法. ライフステージと歯内療法 歯の長期保存のために(興地隆史, 井澤常泰, 石井信之, 木ノ本喜史編), 10-15頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2013.
- 5) 興地隆史: Mineral trioxide aggregate (MTA)の可能性. ライフステージと歯内療法 歯の長期保存のために(興地隆史, 井澤常泰, 石井信之, 木ノ本喜史編), 46-51頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2013.
- 6) 吉羽邦彦: 抜髄を避けるための歯髄保存療法のポイント. ライフステージと歯内療法 歯の長期保存のために(興地隆史, 井澤常泰, 石井信之, 木ノ本喜史編), 66-71頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2013.
- 7) 金子友厚, 興地隆史: 根未完成歯の歯髄再生療法. ライフステージと歯内療法 歯の長期保存のために(興地隆史, 井澤常泰, 石井信之, 木ノ本喜史編), 88-91頁, デンタルダイヤモンド社, 東京, 2013.
- 8) 興地隆史: 自家移植歯の歯内療法とマイクロスコープの活用. マイクロデンティストリー-YEARBOOK 2013(日本顕微鏡歯科学会編), 82-87頁, クインテッセンス出版, 東京, 2013.
- 9) 興地隆史: 歯髄保存療法の生物学的基盤—最新コンセプトおよび将来展望. 今だからこそ押さえておきたい!世界の歯内療法の潮流, 64-66頁, クインテッセンス出版, 東京, 2014.

- 10) 金子友厚、山中裕介、伊藤崇史、吉羽邦彦、興地隆史：再生歯髄組織内におけるマクロファージの活性化と成熟. 今だからこそ押さえておきたい！世界の歯内療法の潮流, 140-141 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2014.
- 11) 興地隆史, 金子友厚 (分担執筆)：歯内療法学専門用語集 (日本歯科保存学会, 日本歯内療学会編), 医歯薬出版, 東京, 2014.
- 12) 韓 臨麟, 興地隆史：ナノシール. 象牙質知覚過敏症 目からウロコのパーフェクトガイド (富士谷盛興, 千田彰編), 第二版, 39 頁, 医歯薬出版, 東京, 2013.
- 8) Ohkura N, Shigetani Y, Yoshiba N, Yoshiba K, Okiji T: Prostaglandin transporting protein-mediated prostaglandin E<sub>2</sub> transport in lipopolysaccharide-inflamed rat dental pulp. J Endod: 2014 (in press).
- 9) Wakamatsu R, Takenaka S, Ohsumi T, Terao Y, Ohshima H, Okiji T: Penetration kinetics of four mouthrinses into *Streptococcus mutans* biofilms analyzed by direct time-lapse visualization. Clin Oral Investig 18(2): 625-634, 2014.
- 10) Ito T, Kaneko T, Yamanaka Y, Shigetani Y, Yoshiba K, Okiji T: M2 macrophages participate in the biological tissue healing reaction to mineral trioxide aggregate. J Endod 40(3): 379-383, 2014.
- 11) Yamaguchi M, Terao Y, Mori-Yamaguchi Y, Domon H, Sakaue Y, Yagi T, Nishino K, Yamaguchi A, Nizet V, Kawabata S: *Streptococcus pneumoniae* invades erythrocytes and utilizes them to evade human innate immunity. PloS one 8(10): e77282, 2013.
- 12) 興地隆史：接着性根管シーラーの現状と臨床. 接着歯学 31(2)：58-62, 2013.
- 13) 興地隆史：ライフステージに応じた歯内療法の考え方. 日歯医学会誌 33：92-96, 2014.
- 14) 吉羽永子, 吉羽邦彦, 大倉直人, 重谷佳見, 武井絵梨花, 細矢明宏, 中村浩彰, 興地隆史：ヒト歯髄創傷治癒過程における細胞外基質の局在変化—Fibrillin-1 基質の動的リモデリングに関する検索—. 日歯保存誌 56(3)：161-168, 2013.
- 15) 韓 臨麟, 興地隆史：ケイ酸カルシウム系歯内療法用材料による脱灰象牙質再石灰化, 日歯内療誌 34(2)：128-134, 2013.
- 16) 竹中彰治、大墨竜也、若松里佳、寺尾豊、大島勇人、興地隆史：アルコールフリー洗口液 Listerine Zero の *Streptococcus mutans* バイオフィルムに対する浸透・殺菌効果. 日歯保存誌 56(2)：105-112, 2013.
- 17) 渡部平馬, 浅井哲也, 風間龍之輔, 福島正義, 興地隆史：各種デュアルキュア型レジンセメントの長石系マシーナブルセラミック介在下における硬化度の検討. 日歯保存誌, 56(3)：223-230, 2013
- 18) 伊藤崇史, 山中裕介, 金子友厚, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 重谷佳見, 興地隆史：Mineral trioxide aggregate に対するラット皮下結合組織の応答-マクロファージ関連分子の免疫組織化学的・分子生物学的解析-. 日歯保存誌 56(1)：9-16, 2013.
- 19) 小島千奈美, 竹中彰治, 大墨竜也, 興地隆史：セルフケアにおける洗口液普及を目指したアンケート調査. 日歯周誌 55(2)：148-155, 2013.
- 20) 小野和宏, 西山秀昌, 八木 稔, ステガロユ ロク

### 【論文】

- 1) Han L, Okiji T: Effects of a novel fluoride-containing aluminocalciumsilicate-based tooth coating material (Nanoseal) on enamel and dentin. Am J Dent 26(4): 191-195, 2013.
- 2) Han L, Okiji T: Bioactivity evaluation of three calcium silicate-based endodontic materials. Int Endod J 46(9): 808-814, 2013.
- 3) Shigetani Y, Suzuki H, Ohshima H, Yoshiba K, Yoshiba N, Okiji T: Odontoblast response to cavity preparation with Er: YAG laser in rat molars: an immunohistochemical study. Odontology 101(2): 186-192, 2013.
- 4) Kaneko T, Chokechanachaisakul U, Kawamura J, Yamanaka Y, Ito T, Suda H, Okiji T: Up-regulation of p38 mitogen-activated protein kinase during pulp injury-induced glial cell/neuronal interaction in the rat thalamus. J Endod 39(4): 488-492, 2013.
- 5) Kaneko T, Arayatrakoolikit U, Yamanaka Y, Ito T, Okiji T: Immunohistochemical and gene expression analysis of stem-cell-associated markers in rat dental pulp. Cell Tissue Res 351(3): 425-432, 2013.
- 6) Hosoya A, Yukita A, Ninomiya T, Hiraga T, Yoshiba K, Yoshiba N, Kasahara E, Nakamura H: Localization of SUMOylation factors and Osterix in odontoblast lineage cells during dentin formation and regeneration. Histochem Cell Biol 140(2): 201-211, 2013.
- 7) Yamanaka Y, Shigetani Y, Yoshiba K, Kaneko T, Yoshiba N, Okiji T: Evaluation of the responses of MHC class II molecule-expressing cells and macrophages to epoxy resin-based and 4-META-containing, methacrylate resin-based root canal sealers in rat subcutaneous tissue. Dent Mater J 32(5): 822-827, 2013.

サーナ, 重谷佳見, 山村健介, 井上 誠, 前田健康: 大学学習法へのパフォーマンス評価導入における実践的課題. 新潟大学高等教育研究 1(2): 5-8, 2014.

#### 【商業誌】

- 1) 興地隆史: 歯髄の免疫防御システムと歯髄保存. 歯科医療 27(2): 14-20, 2013.
- 2) 興地隆史: ライフステージに応じた歯内療法—歯の長期保存のためのスタンダードを考える—. 歯界展望特別号 お口の健康 全身元気—各世代の最新歯科医療—: 58-60, 2013.
- 3) 吉羽邦彦, 重谷佳見, 山中裕介, 武井絵梨花, 吉羽永子, 興地隆史: Mineral Trioxide Aggregate (MTA) の生体内組成変化と生体機能性. 歯界展望特別号 お口の健康 全身元気—各世代の最新歯科医療—: 209, 2013.
- 4) 重谷佳見, 大倉直人, 細矢明宏, 鈴木啓展, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 大島勇人, 興地隆史: 半導体レーザー照射後のラット臼歯における硬組織形成誘導機構の解明. 歯界展望特別号 お口の健康 全身元気—各世代の最新歯科医療—: 210, 2013.
- 5) 大倉直人, 重谷佳見, 細矢明宏, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 興地隆史: ラット炎症歯髄に対する薬物輸送担体の遺伝子発現解析. 歯界展望特別号 お口の健康 全身元気—各世代の最新歯科医療—: 208, 2013.
- 6) 大墨竜也, 若松里佳, 竹中彰治, 大島勇人, 興地隆史: *Streptococcus mutans* バイオフィルムに対する洗口液の膜障害・剥離効果. 歯界展望特別号 お口の健康 全身元気—各世代の最新歯科医療—: 222, 2013.
- 7) 吉羽邦彦: Q & A 若年者への歯髄保存療法. デンタルダイヤモンド 39(2): 99-101, 2014.
- 8) 竹中彰治, 大墨竜也, 興地隆史: 新・臨床に役立つすぐれモノ リステリンナチュラルケア. デンタルダイヤモンド 38(13): 152-155, 2013.
- 9) 竹中彰治, 渡邊美幸, 興地隆史: 洗口液なるほど活用術. DHstyle 7(4): 22-37, 2013.
- 10) 竹中彰治, 興地隆史: 洗口液なるほど活用術 Q&A. DHstyle 7(5)-8(3), 2013-2014.
- 11) 金子友厚, 興地隆史: だれもが知っておきたい Reference the Classic——歴史的論文への招待 Endo [21] 歯内療法後の術後疼痛について. ザ・クインテッセンス 32(12): 230-236, 2013.
- 12) 金子友厚, 興地隆史: だれもが知っておきたい Reference the Classic——歴史的論文への招待 Endo [20] 効果的な根管洗浄法を探る. ザ・クインテッセンス 32(8): 199-204, 2013.
- 13) 金子友厚, 興地隆史: だれもが知っておきたい

Reference the Classic——歴史的論文への招待 Endo [19] 根管の内部吸収 (Internal Root Resorption) について. ザ・クインテッセンス 32(4): 193-199, 2013.

- 14) 金子友厚: Another Side. ザ・クインテッセンス 32(9): 147, 2013.

#### 【研究費獲得】

- 1) 興地隆史: 幹細胞移植による歯髄再生療法創生を目指す—スキャホールドの開発と動物モデルの確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 23390433, 2011.
- 2) 興地隆史: 歯髄幹細胞からの活性化マクロファージ分化誘導と歯髄組織再生への応用. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 挑戦的萌芽研究, 25670808, 2013.
- 3) 吉羽邦彦: 組織培養法による歯髄再生モデルの確立と歯髄細胞の動態解析. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 24592863, 2012.
- 4) 吉羽永子: 歯髄創傷治癒・再生のための  $\alpha$ -SMA 陽性線維芽細胞を軸とした多角的アプローチ. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 25462952, 2013.
- 5) 韓 臨麟: アパタイト形成能を有する生体機能性セメントの開発とう蝕象牙質再石灰化療法への展開. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 25462954, 2013.
- 6) 竹中彰治: 菌体外マトリックスを標的とした成熟バイオフィルム制御のための多角的アプローチ. 基盤研究 (C), 23592795, 2011.
- 7) 竹中彰治: 顆粒入り歯磨剤の有効性評価に関する研究. 花王株式会社, 2013-2014.
- 8) 重谷佳見: 半導体レーザーによる歯髄内硬組織形成—非コラーゲン蛋白の局在と遺伝子発現解析—. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 (B), 23792167, 2012.
- 9) 金子友厚: 新潟大学若手教員論文投稿等支援プログラム
- 10) 金子友厚: 歯髄の組織再生を促進させるための血管新生バイオマーカーに対する分子生物学的研究. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 24592862, 2013
- 11) 庭野和明: 根管拡大形成操作解析装置の開発—シミュレータ使用のための検証—. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 24592864, 2012.
- 12) 大倉直人: 実験的歯髄炎におけるトランスポーターを介したプロスタグランジン E2 輸送機構の解析.

日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金  
若手研究 (B), 25861794, 2013.

- 13) 山中裕介: 実験的根尖性歯周炎における血管新生関連因子の局在および遺伝子発現解析. 日本学術振興会科学研究費学術研究助成基金助成金 若手研究 (B), 25861795, 2013.

#### 【招待講演・シンポジウム】

- 1) Okiji T: Vital pulp therapy: Biological basis, current concepts and future perspectives. The 9th world endodontic congress of the International Federation of Endodontic Associations, Tokyo, May 26, 2013.
- 2) 興地隆史: 今日の保存治療—ライフステージに応じた歯の長期保存のための歯内療法. 日本歯科医学会学術講演会, 大津, 2013年9月6日.
- 3) 興地隆史: 歯髄保存療法. 日本歯内療法学会認定臨床研修会, 東京, 2013年10月27日.
- 4) 興地隆史: 最新のシステムが拓く効率的で確実な歯内療法. 東京歯内療法セミナー, 東京, 2013年12月15日.
- 5) 興地隆史: 日常臨床に活かす歯内療法の潮流. 中越地区歯科医学会, 長岡, 2013年3月1日.
- 6) 興地隆史: 今日の保存治療—ライフステージに応じた歯の長期保存のための歯内療法. 日本歯科医学会学術講演会, 静岡, 2014年3月9日.
- 7) 韓 臨麟: ケイ酸カルシウム系生体機能性材料による歯髄覆罩の臨床応用. 上海歯科医師会支部会, 上海, 2013年11月26日.
- 8) 竹中彰治: 口腔バイオフィルム制御のための洗口液の意義と求められる諸性質は? 日本歯科保存秋季学術学会 (第139回) ランチョンセミナー, 秋田, 2013年10月18日.
- International Federation of Endodontic Associations, Tokyo, May 23-26, 2013.
- 4) Yamanaka Y, Kaneko T, Ito T, Okiji T: Nuclear factor- $\kappa$ B decoy suppresses the development of apical periodontitis in rats. The 9th world endodontic congress of the International Federation of Endodontic Associations. Tokyo, May 23-26, 2013.
- 5) Ohkura N, Shigetani Y, Yoshida N, Yoshida K, Okiji T: Prostaglandin transporter mediated prostaglandin E2 transport in inflamed dental pulp. The 9th world endodontic congress of the International Federation of Endodontic Associations, Tokyo, May 23-26, 2013.
- 6) Ito T, Yamanaka Y, Kaneko T, Yoshida K, Shigetani Y, Okiji T: Immunohistochemical analysis of CD163-expressing macrophages in mineral trioxide aggregate-applied rat subcutaneous tissue. The 9th world endodontic congress of the International Federation of Endodontic Associations. Tokyo, May 23-26, 2013.
- 7) Kaneko T, Yamanaka Y, Ito T, Okiji T: Immune-LCM analysis of M1/M2 macrophages in engineered dental pulp tissues. The 55<sup>th</sup> Symposium of the Society for Histochemistry & Cost Nanonet, Prague, June 10-15, 2013.
- 8) Kawamura J, Kaneko T, Yamanaka Y, Ito T, Sunakawa M, Okiji T, Suda H: Analysis of glial cell-related genes in rat thalamus following pulpitis. IADR-ASIA, Bangkok, Thailand, Aug 21-23, 2013.
- 9) Yamanaka Y, Kaneko T, Ito T, Okiji T: NF- $\kappa$ B-blockade increases Bax/Bcl-2 ratio and reduces angiogenesis in periapical lesions. IADR-ASIA, Bangkok, Thailand, Aug 21-23, 2013.
- 10) Takei E, Shigetani Y, Yoshida K, Hinata G, Yoshida N, Okiji T: Transient accumulation of M2 macrophages after direct pulp capping with mineral trioxide aggregate in rat molars. The 15th Joint Scientific Meeting between the Japanese Society of Conservative Dentistry and the Korean Academy of Conservative Dentistry, Gyeongju, Korea, Nov 23, 2013. Restor Dent Endod 38 (Suppl): 45, 2013.
- 11) Ito T, Kaneko T, Yamanaka Y, Yoshida K, Shigetani Y, Okiji T: Accumulation of M2 macrophages in mineral trioxide aggregate-implanted tissue. The 15th Joint Scientific Meeting between the Japanese Society of Conservative Dentistry and the Korean Academy of Conservative Dentistry, Gyeongju, Korea, Nov 23, 2013. Restor Dent Endod 38 (Suppl): 47, 2013.
- 12) Kodama S, Han L, Okawa S, Okiji T: Bioactivity evaluation of fast-setting calcium silicate-based

#### 【学会発表】

- 1) Yoshida K, Yoshida N, Shigetani Y, Okiji T: Immunolocalization of osterix during reparative dentinogenesis in human teeth after pulp capping with MTA. The 9th world endodontic congress of the International Federation of Endodontic Associations, Tokyo, May 23-26, 2013.
- 2) Han L, Okiji T: Effects of a fluoroaluminocalciumsilicate-based material (Nanoseal) on enamel and dentin. The 9th world endodontic congress of the International Federation of Endodontic Associations, Tokyo, May 23-26, 2013.
- 3) Kaneko T, Yamanaka Y, Ito T, Yoshida K, Okiji T: The activation/maturation of macrophages in engineered pulp tissue. The 9th world endodontic congress of the

- endodontic materials. The 15th Joint Scientific Meeting between the Japanese Society of Conservative Dentistry and the Korean Academy of Conservative Dentistry, Gyeongju, Korea, Nov 23, 2013. Restor Dent Endod 38 (Suppl): 48, 2013.
- 13) Han L, Kodama S, Okiji T: Evaluation of the dentin tubule occluding ability of a fluoroaluminocalciumsilicate-based dentin desensitizer (Nanoseal). The 15th Joint Scientific Meeting between the Japanese Society of Conservative Dentistry and the Korean Academy of Conservative Dentistry, Gyeongju, Korea, Nov 23, 2013. Restor Dent Endod 38 (Suppl): 46, 2013.
  - 14) Watanabe H, Kazama R, Asai T, Ishizaki H, Fukushima M, Okiji T: Efficacy of high-intensity LED curing-units on polymerization of resin cement, The 5<sup>th</sup> International Congress on Adhesive Dentistry, Philadelphia, USA, June 14-15, Comp Cont Edu Dent 34(special issue 9): 40, 2013.
  - 15) 韓 臨麟, 福島正義, 興地隆史: 重合方式がセルフアドヒーシブレジネンセメントと CAD/CAM 用セラミック被着体への接着に及ぼす影響. 61 回日本歯科理工学会, 東京, 61 回歯科理工学会雑誌プログラム、講演集: 48 頁, 2013 年 4 月 13 日.
  - 16) 渡部平馬, 風間龍之輔, 浅井哲也, 石崎裕子, 渡邊孝一, 福島正義, 興地隆史: 高出力 LED 照射器がデュアルキュア型レジネンセメントの硬化度に与える影響. 平成 25 年度新潟歯学会総会, 新潟, 2013 年 4 月 20 日. 新潟歯学会誌 43(1): 75 頁, 2013.
  - 17) 韓 臨麟, 興地隆史: 4 種の象牙質知覚過敏抑制材(剤)による象牙細管封鎖効果. 62 回日本歯科理工学会, 新潟, 2013 年 10 月 19-20 日, プログラム・講演集: 34 頁, 2013.
  - 18) 庭野和明, 興地隆史: 根管形成操作解析装置の開発 - トルク・荷重平面でのデータ点運動評価方法 -.
  - 19) 日本歯科保存学会 2013 年春季学術大会(第 138 回), 福岡, 2013 年 6 月 27-28 日, プログラム・講演抄録集: 140 頁, 2013.
  - 20) 竹中彰治, 興地隆史: リステリンナチュラルケアの *Streptococcus mutans* バイオフィルムに対する膜傷害効果. 秋季日本歯周病学会学術大会(第 56 回), 前橋, 2013 年 9 月 21-22 日, プログラム・抄録集: 121 頁, 2013.
  - 21) 金子友厚, 山中裕介, 伊藤崇史, 吉羽邦彦, 興地隆史: 再生歯髄組織内におけるマクロファージの活性化と成熟. 日本顕微鏡学会第 57 回シンポジウム, 名古屋, 2013 年 9 月 15-16 日.
  - 22) 山中裕介, 金子友厚, 伊藤崇史, 興地隆史: NF- $\kappa$ B の阻害はラット実験的根尖性歯周炎の拡大を抑制する. 日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会(第 138 回), 福岡, 2013 年 6 月 27-28 日, プログラム・講演抄録集: 85 頁, 2013.
  - 23) 伊藤崇史, 金子友厚, 山中裕介, 興地隆史: ラット切歯実験的歯髄炎が幹細胞関連遺伝子の発現に与える影響. 日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会(第 138 回), 福岡, 2013 年 6 月 27-28 日, プログラム・講演抄録集: 123 頁, 2013.
  - 24) 細矢明宏, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 笠原悦男, 中村浩彰: ラット臼歯皮下移植後の歯髄腔内に出現する骨芽細胞様細胞. 日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会(第 138 回), 福岡, 2013 年 6 月 27-28 日. プログラム・講演抄録集: 201 頁, 2013.
  - 25) 河村 隼, 金子友厚, 山中裕介, 伊藤崇史, 砂川光宏, 興地隆史, 須田英明: 実験的歯髄炎はラット視床におけるミクログリアを活性化させる. 日本歯科保存学会 2013 年度春季学術大会(第 138 回), 福岡, 2013 年 6 月 27-28 日. プログラム・講演抄録集: 204 頁, 2013.
  - 26) 金子友厚, 吉羽邦彦, 前田健康, 興地隆史: 歯科用実体顕微鏡を用いた髄腔観察の歯内療法基礎実習への導入. 第 32 回日本歯科医学教育学会学術大会, 札幌, 2013 年 7 月 12-13 日, プログラム・抄録集: 160 頁, 2013.
  - 27) 石崎裕子, 中島貴子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 藤井規孝, 高木律男, 興地隆史: 本院歯科総合診療部における研修歯科医のインシデントの分析と推移. 第 32 回日本歯科医学教育学会学術大会, 札幌, 2013 年 7 月 12 日, プログラム・抄録集: 80 頁, 2013.
  - 28) 藤井規孝, 中島貴子, 石崎裕子, 伊藤晴江, 奥村暢旦, 興地隆史, 小野和宏, 前田健康: 新潟大学歯学総合病院歯科医師臨床研修単独型プログラムにおけるポートフォリオ評価, 札幌, 2013 年 7 月 13 日, プログラム・抄録集: 93 頁, 2013.
  - 29) 渡部 平馬, 風間龍之輔, 浅井哲也, 金谷史夫, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史: 各種 CAD/CAM 用マシーナブルブロックの厚さが光透過性に与える影響. 第 24 回日本歯科審美学会学術大会, 東京, 2013 年 7 月 20-21 日, 第 24 回日本歯科審美学会学術大会プログラム・抄録集: 48 頁, 2013.
  - 30) 吉羽永子, 吉羽邦彦, 大倉直人, 細矢明宏, 中村浩彰, 興地隆史: ヒト歯髄組織から outgrowth する細胞による組織構築に関する研究. 第 55 回歯科基礎医学学会学術大会, 岡山, 2013 年 9 月 20-22 日, J Oral Biosci (Suppl): 193 頁, 2013.
  - 31) 大倉直人, 大倉麻里子, 重谷佳見, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 齋藤 功, 興地隆史: ラット臼歯矯正移動時

における歯髄内 prostanoid receptor の遺伝子発現と免疫組織学的局在解析. 第 55 回歯科基礎医学学会学術大会, 岡山, 2013 年 9 月 20-22 日, J Oral Biosci (Suppl) : 189 頁, 2013.

- 32) 細矢明宏, 雪田 聡, 吉羽邦彦, 吉羽永子, 笠原悦男: 皮下移植歯の歯髄腔内に形成される骨様組織の由来. 第 55 回歯科基礎医学学会学術大会, 岡山, 2013 年 9 月 20-22 日, J Oral Biosci (Suppl): 191 頁, 2013.
- 33) 大倉直人, 重谷佳見, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 興地隆史: ラット炎症歯髄に対する薬物輸送担体を介した Prostaglandin E2 輸送経路解析. 平成 25 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2013 年 11 月 9 日.
- 34) 大墨竜也, 竹中彰治, 寺尾豊, 大島勇人, 興地隆史: *Streptococcus mutans* 人工バイオフィーム形成動態の解析 -死菌構造物への再付着と低濃度抗菌剤によるマトリックス形成亢進-. 平成 25 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2013 年 11 月 9 日.
- 35) 大墨竜也, 竹中彰治, 長谷川泰輔, 若松里佳, 坂上雄樹, 寺尾豊, 興地隆史: 低濃度グルコン酸クロロヘキシジンが *Streptococcus mutans* バイオフィーム形成に与える影響. 日本歯科保存学会 2013 年春季学術大会 (第 139 回), 秋田, 2013 年 10 月 17-18 日, プログラムおよび講演抄録集: 119 頁, 2013.
- 36) 韓 臨麟, 興地隆史: 象牙質知覚過敏抑制材ナノシールに関する研究 - pH サイクル環境における歯質表層部微細構造の解析-. 日本歯科保存学会 2013 年度秋季学術大会 (第 139 回), 秋田, 2013 年 10 月 17-18 日, プログラムおよび講演抄録集: 113 頁, 2013.
- 37) 武井絵梨花, 重谷佳見, 吉羽邦彦, 日向 剛, 吉羽永子, 興地隆史: ラット臼歯における Mineral Trioxide Aggregate による直接覆髄後の M2 マクロファージの動態. 日本歯科保存学会 2013 年度秋季学術大会 (第 139 回), 秋田, 2013 年 10 月 17-18 日, プログラムおよび講演抄録集: 34 頁, 2013.
- 38) 坂上雄樹, 竹中彰治, 大墨竜也, 長谷川泰輔, 若松里佳, 寺尾豊, 興地隆史: *Streptococcus mutans* バイオフィームに対する高分子化合物の拡散性の検索. 日本歯科保存学会 2013 年度秋季学術大会 (第 139 回), 秋田, 2013 年 10 月 17-18 日, プログラムおよび講演抄録集: 117 頁, 2013.
- 39) 長谷川泰輔, 竹中彰治, 大墨竜也, 若松里佳, 坂上雄樹, 寺尾豊, 興地隆史: バイオフィームを形成した *Streptococcus mutans* に対するリステリンナチュラケアの膜傷害, 殺菌効果. 日本歯科保存学会 2013 年度秋季学術大会 (第 139 回), 秋田, 2013 年 10 月 17-18 日, プログラムおよび講演抄録集: 118 頁,

2013.

- 40) 小玉沙織, 韓 臨麟, 大川誠剛, 興地隆史: 速硬化型ケイ酸カルシウム系歯内療法用セメントの生体機能性に関する研究. 日本歯科保存学会 2013 年度秋季学術大会 (第 139 回), 秋田, 2013 年 10 月 17-18 日, プログラムおよび講演抄録集: 105 頁, 2013.
- 41) 渡部平馬, 風間龍之輔, 浅井哲也, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史: CAD/CAM 用修復材料の組成と厚さがデュアルキュア型レジンセメントの硬化度に与える影響. 第 32 回日本接着歯学会学術大会, 福岡, 2013 年 11 月 30 日-12 月 1 日, 接着歯学 31(3): 141 頁, 2013.

#### 【研究会発表】

- 1) 坂上雄樹, 竹中彰治, 大墨竜也, 長谷川泰輔, 若松里佳, 寺尾豊, 興地隆史: *Streptococcus mutans* バイオフィームに対する高分子化合物の拡散性の検索. バイオフィームと複合系研究会, 宇都宮, 2013 年 12 月 7-8 日.

#### 【受賞】

- 1) 渡部平馬, 浅井哲也, 風間龍之輔, 中村輝保, 金谷史夫, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史: ファイバーポストを併用した直接法レジン支台築造の破折強度と破折様相—繰り返し荷重の影響—. 日本歯科審美学会論文賞, 第 24 回日本歯科審美学会学術大会, 2013 年 7 月 20 日.
- 2) 渡部平馬, 浅井哲也, 風間龍之輔, 石崎裕子, 福島正義, 興地隆史: CAD/CAM オールセラミッククラウン修復における各種レジンセメントの辺縁封鎖性について. 日本接着歯学会デンツブライ賞, 第 32 回日本接着歯学会学術大会, 2013 年 11 月 30 日.

#### 【その他】

- 1) 興地隆史: 歯髄・根尖歯周組織の炎症・免疫・治癒. 日本歯科大学生命歯学部学生講義, 東京, 2013 年 9 月 4 日.
- 2) 興地隆史: 歯髄・根尖性歯周組織疾患と免疫学. 東京医科歯科大学歯学部学生講義, 東京, 2014 年 1 月 22 日.
- 3) 興地隆史: 臨床に役立つ歯髄・象牙質の知識—象牙質/歯髄複合体の防御・修復機構と歯髄保存の臨床—. 兵庫保険医新聞, 第 1725 号, 2013 年 7 月 25 日.
- 4) 韓 臨麟: MTA: ケイ酸カルシウム系歯内療法用材料の生体機能性と臨床応用. 新潟市歯科医師会誌, 2014 年 3 月